令和8年度 山口県立大学 国際文化学部 情報社会学科
一般選抜（後期日程）面接問題

情報社会の進展、特にテレワークの普及により、都市部に住み続ける必要性が低くなり、地方移住へのハードルが下がっています。

これにより、地方移住者による、場所を選ばない働き方や地域の自然や文化を満喫できる「新しいライフスタイル」が確立されていくことが期待されています。

では、この「新しいライフスタイル」とは、具体的にどのようなものだと思いますか？

その内容や、期待すること、課題点などを具体的に挙げながら、ディスカッションしてください。

令和8年度 山口県立大学 国際文化学部 情報社会学科

一般選抜（後期日程）面接問題

面接出題意図・評価基準

【出題意図】

本学科での学びと受験者の認識の一致度合いを測ることで、学科適合性を見る。学科適合性については、第一に受験者に十分な思考力・判断力・表現力が備わっているか、第二に受験者に主体的に、かつ協調性をもって学ぶ意欲があるか否かで測る。

近年の情報社会の進展、特にテレワークの普及は、単に IT 技術の進化の範疇（はんちゅう）に留まらず、人々の働き方、暮らし方そのものを大きく変え、ひいては都市部と地方の格差縮小によって地方創生を促進することが指摘されている。

本問では、このような情報技術をめぐる社会情勢を身近な関心事として捉え、情報と社会との具体的な関わり方について、自らの知見を適切な表現で伝えることができるのか。さらに、この解が一義的に定まらない問いに対し、他者の意見も尊重しつつ議論を展開かつ収斂（しゅうれん）していく力があるのか。こうした点について問うている。